

三女

1 11月11日ともはまけんが「あつて」近道を歩いたくなる。

2 このもとは平安時代にはおれいふ、あで「行くか」おそいはしをおたていにかで「ねで」いくとしぬか、もしぬかに風にな、かおておそくなるかもしぬかいはしなとぬかぬという可欠が「もと」と。

③ 可欠のぬか急が「は」まあわが「あ」あていった。

にたはなし

かみひにこうきをつくことば「えん」として、ほかくとば「な」かたからいそいでてきょうに
ついたらせ「んせ」とばなれた。

きいてみたこと

あ ~~母~~ 母

・あ+2「はらもおべんとうをつくらしてキッチンが「ごち、ご」ちのままで「あ」と、
エポソジが「な」たりおしらか「ぐらぐら」したり「あ」から「あ」しかたす「け」たは「あ」が「よい」
と「あ」が「い」ていた。

長文を読まずに「どんなお話なの？」人に聞いてはダメ～！
自分でじっくり読んでみて！ そう、それかまさに「急かばまわれ」！

夕

どの組み合わせでもOK!



自分の話+自分の話
自分の話+聞いた話
自分の話+もじりつ

構成

「三文ぬきかき」

長文を大きく3つに分け、それぞれから一文ずつぬき出し、それらをつなげて書く。

題材

「自分だけかした」と

長文の語句をいすたけいすたではないかな？ もし～たら～らを使ってもよい。

表現

「たえ」「タジャレ」

たえ...まるで～みたい
タジャレ...タジャレ集から選んでもいいね!

主題

「心の中で思ったこと」

このお話(長文)を読んで思ったこと、全体の感想

選んだところに線を引く!



早くやろうとしてその場しのぎのことはすると...

結局時間がかかる → トオホ。ちゃんとやればよかったなあ。

(例) 1. いそぐ時には、少くらい
2. 武士の矢馬也の船は
3. この歌の中で「急かばま」

(例) ちくしそりたつたので
近道をしたら水たまりには
まて...

(例) まるでタイムワープしたよう
に...まるで時計を止めたよう
。まるでずうとそこにいたかのように

(例) 私は時間がない時
に、じっくりとあわてずに
取り組んだ方か、うまいと...



そのとき、うまい...

君の三文ぬきかき

1. いそぐときは
2.
3.

君のいすた話

かみここうきをと
は

聞いた話(または、もし～たら)

君の感想

この長文を読んで... じかにか
よいもさおしにまう
したからしたほう...
心の中で思いました。



あかし作りの
時は、いそいで
いても、きちんと
本材料を計ら
ない、うまく
できないのよ。

続けて「一番～と思ったのは
一です。」を書く。

一番
は
です。

たとえばタジャレ

会話やくわい説明

「まー急かばまわれ
そのことわかんないよ
ある？」

おすすめ本

「ちひさる子ちゃんのことわざ」
さくらももこ・集英社

わかりやすく
楽しいよ!

▲書き出しのくふうは感想文の時はいなくてもよいです。

▲いすた話...失敗した話ばかりではなく、「きちんとていねいにやっ
て成功した話もいいですね。